

論壇

惠泉女学園
大学学長

木村 利人



見えてきた根源的な
問い

「あなたは幸せですか？」
と聞かれたらどう答えるだろ
うか。

11月下旬に国王夫妻が国賓
として来日した「ブータン」
というほぼ九州ほどの広さの
人口約70万の国では、国民の
「幸福度」評価が極めて高い

ということに注目を集めた。

中国とインドに挟まれたこの
ヒマラヤ山麓の国には車が多
くないので清浄な空気に満
ち、騒音もない。「空気」や
「静けさ」を輸出したらとい

う冗談も報道されたが、実際
には小規模水力発電による電
力をインドに輸出し、外貨に
よる収入などで教育や医療に
は国民の負担はないという。

ブータンでは前の国王の時
代に「総幸福度/GNH」と
いう基準で伝統を重んじた国
づくりを進めてきた。この

「総幸福度」をはかる基準は
「良好な統治と民主化」「安定
・公平な経済発展」「環境の保
護」「文化の保護」の四つの目
標である。一人当たりの国民
総所得は約15万円だが、05年
の国勢調査でブータン国民の

97%が幸せだと答えた。
イギリスのライチェスター
大学の世界諸国幸福度ランキ
ング調査によれば178カ国
中で、デンマークが1位、ブ
ータンは8位、アメリカ23
位、イギリス41位で、日本は

「幸福度」も増進するものと
誤解してきたからであろう。

しかし今、東日本大震災の悲
惨な体験や脱原発運動の中か
ら見えてきたのは、単なる生
活の向上などの経済的指標だ
けでなく「本質的なものは何

何と90位となっている。

ものがあって、生活も豊か
に思える日本の幸福度が低い
理由は何だろうか。それは、
国家の経済成長が所得の増進
につながり、人々が豊かな生
活をおくれるようになれば

あなたは幸せですか？

「幸福度」も増進するものと
誤解してきたからであろう。

しかし今、東日本大震災の悲
惨な体験や脱原発運動の中か
ら見えてきたのは、単なる生
活の向上などの経済的指標だ
けでなく「本質的なものは何

か」という根源的な問いであ
った。

一人ひとりの「いのち」が
守られてこそ幸福が成り立
つ。その人間存在の根源的な
問いを突きつけられている。

そして、3・11に直面して以
降、わたしたちは「いのち」
をまもるための徹底的な備
え、防災、耐震、安全の確
保、情報の公開、国と社会の

「幸せ」のメッセージを語り
かけてわたしたちに迫って
くる。その表現は何と逆説的
であることか。「悲しむ人々
は、幸いである、その人々は
慰められる。(マタイによる福音
書、5・4)」と。

悲しんでいるとき、神によ
る慰めを与えられることが
「祝福」なのであると聖書は
語りかける。ここで言う「幸
い」は「祝福」の意味なので

ある。全ての人々にとって、
神により与えられる「祝福」
こそが「幸せ」の根拠なの
だ。自分の主観的な「幸福
感」や他者による経済的な
「幸福度」による評価ではな
く、神により現実となった
「祝福」こそが、人々にとっ
ての「幸せ」の出発点である。
今、待降節を迎えつつある
この時に、いのちの祝福への
希望を持って、神に向けて歩
んで行きたい。

悲しんでいるとき、神によ
る慰めを与えられることが
「祝福」なのであると聖書は
語りかける。ここで言う「幸
い」は「祝福」の意味なので

ある。全ての人々にとって、
神により与えられる「祝福」
こそが「幸せ」の根拠なの
だ。自分の主観的な「幸福
感」や他者による経済的な
「幸福度」による評価ではな
く、神により現実となった
「祝福」こそが、人々にとっ
ての「幸せ」の出発点である。
今、待降節を迎えつつある
この時に、いのちの祝福への
希望を持って、神に向けて歩
んで行きたい。

悲しんでいるとき、神によ
る慰めを与えられることが
「祝福」なのであると聖書は
語りかける。ここで言う「幸
い」は「祝福」の意味なので

ある。全ての人々にとって、
神により与えられる「祝福」
こそが「幸せ」の根拠なの
だ。自分の主観的な「幸福
感」や他者による経済的な
「幸福度」による評価ではな
く、神により現実となった
「祝福」こそが、人々にとっ
ての「幸せ」の出発点である。
今、待降節を迎えつつある
この時に、いのちの祝福への
希望を持って、神に向けて歩
んで行きたい。

(きむら・りひと)